

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2020 年 2 月号 (第 135 号)

発行責任者 佐藤 重松



2020. 01. 27

竹内 好夫観世流謡曲名誉師範 謡曲・仕舞

場所：彩翔亭

広報部の今後について

広報部長 玉上 佳彦

新たな年を迎えて、ところざわ倶楽部の広報部としての今後の方向について、以下のように進めていきますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

ところざわ倶楽部では、約 270 人の会員の皆様に、毎月発行の広報紙「広場」と毎週更新のホームページで、的確に情報発信していきます。今年度は、4 名の広報部担当理事、7 名の編集委員、6 名の役員により構成された編集会議メンバー(17 人中 7 人が女性)で、広報担当としての作業を進めています。

- ・HP は原則として、毎週日曜日に更新して、**最新の情報**をトップページに掲載しています。最低でも週 1 回はメールと HP の閲覧をして、チェックいただきたいと思います。
- ・PC を利用されていない方々には、広報紙「広場」

だけでは、情報が届きにくい場合もあります。サークル代表、理事の方々には、サークル活動欠席の方々への、FAX などでの情報提供をご検討下さい。

- ・現在「広場」では「戦争と平和！」と「おすすめの 1 冊」のシリーズを掲載しています。会員の皆様の積極的な投稿をお待ちしています。
- ・新規に入会された方々をご紹介をする特別号を、3 月号とともに発行しますが、更に詳しい「新会員の声」欄を「広場」に掲載しています。編集委員からの要請にご協力いただき、皆様の積極的な投稿、情報提供をお願いします。
- ・2007 年の第 1 号からの「広場」の貴重な掲載情報を検索しやすい**索引**を年内中に作成したいと考えています。

朗読劇「線量計が鳴る」を是非一緒に！

朗読劇「線量計が鳴る」所沢上演実行委員会 岡部 まさ子



福島第一原子力発電所の事故から、この3月で既に9年目となります。当時テレビに映し出されたあの地震による大津波、水素爆発により吹き飛ばされた原発建屋の屋根（セシウムは広島に投下さ

れた原爆の168発分といわれている）の映像が、今でも当時の不安と恐怖とともに甦ってきます。放出され、汚染された大気、生活を根こそぎ破壊された人々の苦難、事故以降増え続けているという甲状腺異常の出現。溶け落ちた炉心は未だにどこにあるのかわからず、汚染水は増え続け、先日の台風19号によって漏れ出しているといわれています。また廃棄物の処理等は、未だに何も解決されずにいます。今でも福島は放射能汚染地域なのです。

広島、長崎に投下された原爆は、戦後、原子力エネルギーの平和利用の原発と形を変え、発電コストが安い、クリーンエネルギー等と宣伝され、使用が広がっていきました。そしていつのまにか、日本全国に54基の原発が、設置されている現実を知らされました。世界でも有数の地震国の日本で、いつまたあのような事故が起きるのか、リスクと背中合わせの日常が続いているのです。

それでは私達に何ができるのでしょうか。私のささやかな体験ですが、20年前に、教育や医療費の無償化等の社会保障が整備されているデンマークに2週間程滞在して、学校、老人ホーム、ゴミ処理場等の施設を見学する機会があり、その中に風力発電も含まれていました。デンマークは原発を持たない国作りをしています、海上、陸上の

風力発電の仕組みを学習し、施設を見学した折に、風力発電で得たエネルギーは自国の電力だけではなく、余った分は対岸のスウェーデンに売っているという話が心に残りました。養豚が盛んな同国では、豚の糞尿を発酵させてメタンガスにし、家庭用の暖房に使用するなど工夫され、夜になると、公共施設以外の一般家庭では、電灯は必要以上に明る過ぎず、仄かな照明を楽しんでいる様子でした。2050年までには、風力発電と太陽光発電で、全ての必要電力を賄うことをめざして頑張っているとのこと。日本のように煌々とした明かりを使用せずとも、同国の国民の幸福度は毎年世界でトップクラスに入っているのです。そこには、国民一人ひとりの生活の質をどこに求めているかが、問われているように思えます。

今回の朗読劇「線量計が鳴る」は、環境問題と人権に関心の高い中村敦夫氏が、原発事故以後、一表現者として何ができるかを自らに問い続け、3年かけて脚本を書き上げ、全国で上演を続けています。

私は、当初アムネスティの会報でそのことを知り、東京、横浜などでの上演チケットを求めましたが、すぐに完売となっていて、一昨年（2018年）の八王子公演でのチケットがやっと手に入りました。主催は、放射線量を測り続けている市民団体の方々と、その熱心さに敬服しました。

中村敦夫氏は、舞台上のスクリーンに福島原発事故の恐ろしさを客観的な数値（表やグラフなど）を使って、その惨状を伝えてくれました。原発が導入された経緯や事故の背景、経済優先の国の姿勢、原発利権に群がる人々を通して、日本の現状を訴え、原発ゼロへの思いを表現しています。これまで、これほど深刻な事態だとは認識していなかった私にとって、一つひとつの言葉が、心に刻まれていきました。この朗読劇を通して、一人でも多くの方々と、まだ収束されずにいる原発と向き合い、未来の子ども達のため、これからの社会のあり方、私達の生き方を考えていけたらと思っています。

新会員の声

所沢都民から所沢市民へ

楽悠クラブ、地球環境に学ぶ、傍聴席 芝間 伸剛



所沢市民大学の受講生のその多くが、仕事を退職しそれまで所沢に居住しながら実は所沢のことをよく知らなかった。所沢市の行政が何を行っているのか、所沢の高齢化がどの程度なのか気にも留めなかったという人がなんと多いことか、私もその例外ではありませんでした。

所沢に住み始めて早 30 年となりますが、その半分近くが単身赴任、残りの半分の期間も睡眠のために帰ってくるねぐらでしかなかったような気がします。そうした中で退職を迎え、24 時間所沢での生活がスタートしましたが、趣味のゴルフ以外どう時間を過ごしたらいいのか困っているとき妻に勧められて、「所沢市民大学」を受講することになりました。

仕事は技術系であったため、1 年次の広範囲にわたる講座はとても新鮮でした。また所沢についていろいろと学ぶことができました。特に 2 年次には所沢市をもっと勉強してみたいと思い「地方自治」を選択し、同じ目的を持つ仲間と、所沢の行政について調査し、討議することで、遅ればせながらではあるが所沢のことを少し知ることができたような気がします。ようやく所沢市民となったと思えるようになりました。

所沢市民大学を修了し、これだけで終わってしまうのももったいないと「ところざわ倶楽部」に参加して、これからはもっとたくさんの所沢市民の方の話に耳を傾け、意見交換していけるような活動を続けていくことにより、さらに自慢のできる所沢市民になろうと思っています。

好きなことを探しながら過ごしてゆくこと

所沢の自然と農業 阿部 精二



3 年前に市民大学ファームで活動を始め、遅まきながら今年、市民大学 26 期生として無事卒業いたしました。その流れで「所沢の自然と農業」サークルに入会させていただきました。入会して初めて「ところざわ倶楽部」に参加しているサークルと組織の内容とを知り、傘下のサークル活動の他、講演会や「ところざわ倶楽部まつり」の開催、会報「広場」の発行等、先輩方のパワーにびっくりしました。

この齢になり、第 2 の人生を送るに際して、大切にしたいことは、親しい仲間たちと好きなことを探

しながら過ごしてゆくことで、そのなかでも拘束されずに自由であり、人に感謝されることができれば、最高です。幸い現在参加している「市民大学ファーム」や「自然と農業」のサークル共に自由意思を尊重し、空いた時間で好きな活動に参加することができる自由な雰囲気が気に入っています。

また、年 2 回のリンゴ農園のボランティア活動や、トトロの森の保全活動や落ち葉掃き等の多岐にわたる活動には楽しみながら参加させてもらっていますが、毎年同じメニューだと、食事と同じように物足りなく感じるもので、希望としては、川の保全活動等「水」に関する活動があると一層充実するのではないかと思います。

おすすめの1冊
第6回

「ダ・ヴィンチ・コード」を改めて読んで、観て

23期 吉兼 健悟



子どもの時から読書は好きでした。小学校の図書館で初めて借りて読んだ少年少女SF本「海底二万哩」に始まり、就職してからは通勤時間が読書タイム、推理小説が中心、和洋折衷、松本清張、アーサー・ヘイリー、シドニー・シエルダン、マイケル・クライトン等々読んでいました。段々と「ビジネス書」「ハウツーもの」が中心になり、暫らくは小説から遠ざかっていました。そんな50代半ばに、知り合いの設計事務所の雑然とした机の上に転がっていたダン・ブラウン著「ダ・ヴィンチ・コード」の表紙が脳裏に残り、帰りに書店で購入しました。読み始めると主人公の宗教象徴学ラングドン教授と暗号解読者ソフィーが次々と巻き込まれるキリスト教の歴史・宗教の謎を次から次へと解読して行くスピーディーな展開に面白く、一気読みました。



ダン・ブラウン（著）

物語はルーブル美術館の館長が古代ローマ時代のウィトルウィウスの「建築論」に基づいてレオナルド・ダ・ヴィンチが描いた「ウィトルウィウス人体図」の形で殺されるところから物語は始まります。

「ウィトルウィウス人体図」は私が建築の授業で初めに教わった

「黄金比」とされています。人間がもっとも美しく感じる比率（キャッシュカード、テレビの画面サイズ等々）で今でも私のスケールです。また館長のダイイングメッセージが「フィボナッチ数列」

(1, 1, 2, 3, 5, 8...) ですが3以降の数字は全てそれに続く数字との比率が「黄金比」(1.618...)に収束します。この数列が物語の中で銀行の「暗証コード」につながります。この様な比喩が私の興味を加速しました。「殺人ミステリー」として、秀逸なストーリー展開で「パリ」、「ロンドン」へと展開していく。テーマは「聖杯とは何か」、私はキリスト教信者ではありませんが、キリスト教の歴史には多少興味があり、この小説で更に興味は膨らみました。秘密結社「シオン修道会」歴代の総長にレオナルド・ダ・ヴィンチ、アイザック・ニュートン等々錚錚たるメンバー、それが物語のなかでレオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」に隠された謎、アイザック・ニュートンの墓が「聖杯」の謎へのメルクマールになっています。他に「テンプル騎士団」には13日の金曜日が不吉であるとの由来等々、雑学の宝庫です。

クライマックスは、ルーブル美術館の「逆さピラミッド」に辿り着きますが、この本を読む数年前に「ガラスピラミッド」を観たので、読み終わった時は鮮明に「ガラスピラミッド」が目に残りました。

さて、よく原作を読んでから映像（映画）を見るのか、映画を観てから原作を読むのかが話題になりますがそれは作品によります。私は基本的には前者です。原作の映像化の場合、原作をプロデューサー、ディレクターがどう解釈して映像化したのか自分との解釈の相違を楽しみます。ただこの「ダ・ヴィンチ・コード」の映画はロン・ハワード監督の素晴らしい映像表現に感服しましたが、内容が複雑で1回映画を見ただけでは理解できないかと思います。先日も改めて観ました。

今も老眼と闘いながら細々と読書を楽しんでいます。もちろん推理小説、図書館で。

**「戦争と平和！」
第 19 回****“抑止力” で平和は創れない**

中原 幹男

《誰が得しているのか》

米軍の無人爆撃機がイラン革命防衛隊の司令官を空



爆して殺した。正月早々世界中に衝撃が走った。さらに報復の応酬が拡大していくのか。

ソレイマニ司令官葬儀

AP 通信 2020 年 1 月 6 日

イランの何

十万人もの群衆が集まり、「アメリカへ死を！」と叫ぶ司令官葬儀シーンがテレビで流れている。世界中が固唾をのんで見ている。

話は変わるが、アジア研究会のミニ講演会で、第 2 次大戦前、アメリカが旧ソ連にも大量の兵器を売却していたことを知った。ソ連はその兵器でドイツと戦った。戦後は、核兵器を互いに大量に製造し冷戦構造が続いた。その間、朝鮮戦争やベトナム戦争、中東戦争、イラン・イラク戦争、アフガニスタン戦争など枚挙に暇がないほど戦争が起こっている。そのほとんどに旧ソ連、ロシアとアメリカがかかわっている。

それらの戦場で使われている兵器は、アメリカ製と旧ソ連製、ロシア製が主流であろう。だれが得をしているのか、武器をつくり売る人間である。

《軍隊はなぜ必要か》

国はなぜ軍隊を持つのか。“専守防衛”というけれど、襲ってくる敵がいなければ軍隊は無用である。かつて工場に勤務していた時に、イスラエルの化学会社の女性の技術営業が特殊プラスチックの売り込みにやってきた。ちょっとだけだが、国防について話ができた。“中東では武力が強くなければ生き残れない。反撃しなければ国がつぶれる。”と言った。いつミサイルが飛んでくるかわからない。われわれ日本人にしてみると、どれだけ緊張して生活しているのか想像がつかない。

「コスタリカの奇跡」というドキュメンタリー上映会があった。中央アメリカに軍隊を放棄した「コスタリカ」

という国がある。1948 年軍事政権が軍隊を放棄し、その予算を福祉や教育に回したのである。何十年も平和が続いていて、2016 年の「地球幸福度指数」世界の国である。

《抑止力で戦争を防げるのか》

“抑止力”という言葉がある。＜敵に甚大な損害を与える武力を保有していることを示し、相手に武力行使を思いとどまらせる＞というのが“抑止力”である。核兵器を保有している国や核兵器を持とうとする国、また、アメリカの「核の傘」に守られていると思っている日本政府もこの論を支持している。しかし、前述のように、相手が核を持っていようがいまいが、世界中で地域的な戦争は終わりなく続いている。武器を持っている限り、報復の連鎖は止まらない。そして、“専守防衛”のためであっても抑止力論はこれで十分という終わりではなく、防衛予算の増大を招き、国際的緊張を高め、武器商人を喜ばせるだけである。

同郷の知り合いに、航空自衛隊の F15 戦闘機乗りがいた。彼は年間何百回もスクランブル発進し、追跡する相手の戦闘機は主にロシアのものだったようだ。多くを語らなかったが、毎回命を落とす覚悟で飛び立ったという。ロシアの戦闘機は何のために日本の上空まで飛んでくるのか、自衛隊の実力を試すのだろうか。ロシアの戦闘機が日本の上空を侵さなければ、命の危険を冒してまで発進する必要はないだろうに。

《仲良くするしかない》

数年前にアジア研究会で「中国は好きか嫌いかな」という討論会を行った。研究会の代表が何度も中国に行つてビジュアルな報告を紹介してくれる。この国の社会整備の進化はすごい。中国相手に日本が戦争して勝てるわけがない。アジア研の討論会の結論は「仲良くするしかない」であった。

どんな小さな小競り合い的戦争でも、環境を破壊する。アジア、中東アジア、アフリカなどは、地域紛争、内戦等によって長い間環境破壊が続いている。一度破壊された環境がもとに戻るには長い年月がかかる。地球を壊してしまう戦争は一刻も早くやめ、地球を守るべきである。

サークル活動報告

楽しい音楽を一緒に！

楽悠クラブ 田村 健一郎



新年会集合写真（徳樹庵）

〔月例会〕月1回、原則として火曜日の午後に、中央公民館3階8・9号室にて実施しており、参加・不参加の事前届は不要で自由としています。概ね20～25人くらいが

集まって、鑑賞が主体であり話し合う機会が少ないため、「うたごえタイム」として発声練習の後、ポピュラーな数曲を斉唱してから、例会を始めています。

〔2019年度の鑑賞作品〕ミュージカル「ルートヴィヒ2世」、ベートーヴェン歌劇「フィデリオ」、R. シュトラウス歌劇「ばらの騎士」、世界各国の音楽&ジャズ、ロッシーニ歌劇「セビリアの理髪師」、チェロ演奏曲特集を鑑賞しました。

〔印象深かった作品〕①モーツァルト歌劇「魔笛」；亀井陽二氏（声楽家/二期会会員）が、パパゲーノ役（バリトン）で出演されたオペラ ②ミュージカル映画



ラ・ラ・ランド La La Land

「ラ・ラ・ランド La La Land」；俳優志望とジャズピアニストの恋愛を描いた2016年公開のアメリカのロマンティック映画 ③レハール喜歌劇「メリー・ウイドウ」；

ところざわ倶楽部まつりに於けるコーラス楽悠サークルの発表曲に縁のある「メリー・ウイドウ・ワルツ」

〔ご案内〕DVDやLD鑑賞を家庭では味わえない「プロジェクターによる大画面映像と迫力ある音響」による臨場感を楽しみに来てください。例会にてお待ちしております！！

みんなで学ぼう「福祉制度」！

活きいきシニア福祉の会 川上 紀春

メンバー17名で活動をしています。昨年10月には26期生2名の方にサークル加入をしていただきました。

2025年問題、8050問題等少子高齢化の問題は、連日のようにマスコミに取り上げられています。私達サークルは、介護保険制度内容、所沢市の高齢者福祉行政等について学習を深めてきました。自分自身、ご家族、ご近所の方に万一介護の必要性が発生した時、多少でも学んだ知識を活かせることができれば幸いだと思っています。

楽しかった活動としては、昨年7・8月「グループホーム・アンジューム所沢」での「夏休み子供食堂」応援がありました。「地域福祉サポーター」有志が実施した「子供食堂」を自主参加でお手伝いしました。子供との歌やゲーム、料理による交流で大変楽しい時間を過ごしました。

それでは、前回報告（2019年6月号）以降のその他の主な活動についてご報告します。

〔9月〕包括支援センター発行の「しっとこノート」の内容を学習し意見交換

自分が望む終末医療・介護について考えるヒントが勉強できました。

〔11月〕認知症に関するビデオ鑑賞（NHK 福祉ビデオライブラリーで借用）

〔12月〕「フードバンクと子供の貧困」の講演会聴講
高齢者ばかりでなく、子供の貧困も大きな社会的問題となっています。フードバンクの制度・意義等を理解することができました。

これからも、元気で楽しく学習活動を続けていきたいと思っています。



子供食堂活動風景

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会 (水上 俊彦 080-6855-5868)

2月14日(金)13:30～15:30 中央公民館6号室
及川先生講義「古事記」(4月まで) 15:40～16:40 例会
3月6日(金)13:30～15:30 中央公民館6号室
及川先生講義「古事記」(4月まで) 15:40～16:40 例会

2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

2月19日(水)13:30～ 中央公民館8,9号室 定例会
天津旅行報告会&最近のアジア情勢に関する情報交換会
3月18日(水)13:30～ 中央公民館8,9号室 定例会
テーマ未定

3. 活いきシニア福祉の会 (川上 紀春 090-5573-2548)

2月26日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター 101号
定例会 地域包括ケア・在宅医療について学習
3月下旬 定例会 「お花見」予定

4. 楽悠クラブ (田村 健一郎 事前連絡は不要です)

2月10日(月) レオン・カヴァルロ 歌劇「道化師」
3月10日(火) 「ベートーヴェン・生誕250年特集」
楽しい音楽を一緒に!!!
いずれも13:15～ 中央公民館 3階8・9学習室

5. 食を通して所沢を知る会 (木下 みえこ 090-7272-6752)

2月18日(火) 東村山駅ロータリー 9:45 集合
東村山ポールスタア(黒焼きそばソース工場見学)
東村山散策 正福寺見学
3月17日(火) チョコレート工場見学(蔵前) 予定

6. 地球環境に学ぶ (中島 峯生 2928-1161)

2月18日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館 研修室
定例会:①持寄り学習②DVD「モルゲン・明日」各自鑑賞中
③「所沢市民ソーラー」見学 *3/31 第5福竜丸見学
3月17日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館、定例会

7. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)

2月8日(土)13:00～17:00 生涯学習センター SP練習
2月27日(木)～28日(金)10:00～16:00 市役所ロビー
市民活動支援センター 市民活動見本市 パネル展 参加
3月4日(水)13:15～15:00 中央公民館 第1会議室
定例会・市政ひよこ塾 市の防災対策を考える

8. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 2992-1751)

2月8日(土)10:00～ トトロ21号地保全活動
2月13日(木)13:00～15:00 新所沢公民館 定例会
2月18日(火)9:30～ 柳瀬荘黄林閣散策路整備
2月22日(土)10:00～ トトロ21号地保全活動
2月28日(金)9:30～ 柳瀬荘黄林閣散策路整備

9. 野老澤の歴史をたのしむ会 (大館 徹 2924-3010)

2月20日(木) 木村先生の歴史講座と座談会・中央公民館学習室8,9号室・13:00～15:15
3月5日(木)「市民大学第26期、地域史グループ発表」を聞く会10:00～12:00 中央公民館 学習室8・9号室

10. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

2月8日(土) 10:00～12:00 中央公民館3号室
シェイクスピア作品「リチャード三世」朗読会
2月22日(土)10:00～12:00 中央公民館3号室
「リチャード三世」朗読続き
3月7日(土) 10:00～12:00 場所未確定

11. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

2月11日(火)10:00～12:30 西新井町会館
洋画「ウエストサイド物語」(61年)ジョージ・チャキリス他
2月25日(火)10:00～12:30 西新井町会館
邦画「のぼるの城」(11年) 野村萬斎・榮倉奈々等
埼玉・忍城/今も残る三成土塁 史実の検証してみよう

12. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

2月17日(月)10:00～12:00
こどもと福祉の未来館・多目的室2号
『会員による「ユマニチュード」を学ぶ、そして懇談』

13. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

2月17日(月)14:00～16:00 新所沢東公民館
学習会 「公共施設マネジメント問題」3回目
「入間市公共施設マネジメント事業計画」の抜粋資料
3月16日(月) 学習会「地域教協交通政策」3回目

14. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

2月21日(金) 13:00～17:00
こどもと福祉の未来館 ボランティア活動室2号 定例会
3月20日(金) 9:00～13:00
こどもと福祉の未来館 ボランティア活動室2号 定例会

理事会報告 第13期第2回理事会を1月20日(月)開催
・市民大学およびところざわ倶楽部の参加者世代構成をもっと幅広くするためのコンセンサスづくりのきっかけとして、「市民大学歴代委員長懇談会」「ところざわ倶楽部歴代会長懇談会」開催の呼びかけ実施を了解した。
・【新春の集い】1/27(月)の開催要領を確認。当日は、会場が満員盛況のうちに無事終了した。参加新会員15名既会員50名。

・【線量計が鳴る】朗読劇2/29(土)中央公民館開催。チケットは、各サークル理事に、5枚または10枚委託。販売協力を依頼した。ところざわ倶楽部は150枚を分担する。
・時局講演会の講師を早稲田大学大学院法務研究科中島徹教授に「憲法を通して時局を解説」テーマ交渉中。
・ところざわ倶楽部まつりの今年度実施概略につき、各サークルでヒヤリングし、2月理事会で集約することとした。

みんなの広場 第20回

所沢の自然と農業
中島 民恵

将来につながる「農のテーマパーク」を

練馬区にある区立の「子どもの森」公園の一角に、60坪くらいの「こども農園」があります。その農園を2区画に分けて、指導者のもてこどもたちが土づくりから種をまき、草むしりをして収穫をし、畑もどしまで行く区画と、近所のだれでもが自由に畑を耕し収穫できるフリースペースがあります。全て無料で行えます。第26期日本の農業のフィールドワークで訪れた時は、こども達は楽しそうに畑を手入れし、収穫野菜を洗ったりしていました。何組かの乳母車の親子も来園していました。

その時の生き生きとした情景が忘れられず、農業を未来につなぐのは、当然のことながら幼い時からの環境と教育だと実感しました。

今、所沢市の小・中学校の全校で農業体験が行われています。食への興味がわき、環境や農業への関心も深まったなどの効果がでているようです。

この小・中学校の体験を一過性のものにしないように、所沢市にも是非、誰でもが自由に農業体験ができるスペースをカルチャーパークのような多くの人が集える所に作ってほしいと思います。いろんなことの中に、生命を育む大切な農業が当たり前のようにあることが大事なことでないでしょうか。

将来を見据えた夢のある「農のテーマパーク」ができれば良いと思います。

むさし野俳句会（令和二年一月）作品抄



コンビニへ吸ひ込まれゆく寒の朝
みんなして畳の部屋へ歌留多取り
寒暄暉緒方貞子という記憶
冬の雷空き家登録完了す
女正月湯舟に光る妻の肩
着ぶくれて小石の影につまづきぬ
坪庭へ雀来てをり初氷
人日の翔び立つ喜寿の初心かな
つらら伸び地に着く畑の道具小屋

中嶋 弘子
中村 直子
橋本 佑子
平栗 彰子
宮本 信生
荒幡千鶴子
井出 昇
海老澤愛之助
粕谷のぼる

鴨の水脈残して湖の暮れゆる
チバニアン幾万回の冬を見し
拍手の響く土俵の淑気かな
寄せ植ゑの五彩揺らして初雀
唱へつつ刻めば香る芹なづな
雪降りて羅漢像めく桑の瘤
大寒の気温の語る温暖化
寒の水湛へて青き多摩湖かな

河瀬 俊彦
小林 典子
佐藤 八郎
白神 恵子
高梨 千代
高橋三加子
利根川啓一
鈴木 征子

《編集後記》

最近、加速度的に時間が早く経つように感じる。▼その理由の一つとして「感動がなくなる」説があるそうだ。歳を取ると新しい経験が少なくなり、感動したり新しいことに触れる経験が少なくなる。そのため人間は一瞬一瞬の目の前のことに意識を向けることがなくなり、それにより時間があっという間に過ぎるといった感覚が生まれるそうだ。感動と脳に刺激を与えるような経験は歳を取るほど必要らしい。▼いいいよ、今年は東京オリンピック・パラリンピック開催だ。2011年の東日本大震災の記憶が残る中での開催決定は、明るいニュースだった。東京開催が決定したのは2013年9月、あれから早くも6年以上も過ぎてしまった。悲惨な事件、自然災害等の様々な事象も、時と共にあっという間に流れ過ぎ去ってしまう気がする。▼問題を抱えての五輪開催だが「被災地復興」「世界平和」の理念は大切にしてほしい。（川上 記）

「広場」問合せ 玉上 佳彦 (090-2497-1076)

川柳「五十」作品発表 選 中島峯生

課題「営業」

美味しいねこれでカミさん機嫌良し
電話では優しい人も怖い顔
営業車ゆずるやさしさ模範的
営業の汗と涙の棒グラフ
営業にとっても向かない津軽弁
壁塗りの営業マンを撃退だ

庵 閑子
どうし
りんご好き
突拍子
縄文人
海さる

「自由句」

四時目ざめまわり気づかい深夜便
孫泊まる掛けた布団が横向きに
七福神歴史を読んで歩きパス
爺と婆ウエブ予約に締め出され
どうしてか褒めれば済むにあらさがし
夫婦とは自慢聞かされ耐える日々

突拍子
りんご好き
庵閑子
縄文人
海さる
鼻・鬚

次回（第50回）課題「組む」そして「自由句」
締切り日：2月20日、担当中島まで、どなたでも
宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp Fax04-2928-1161